

送陸軍省陸軍第一八二一號 四月廿六日
返り許りきぬ 乙未月 乙未日 通 枝

陸軍省
送達

陸軍第一八二一號

四月廿六日

陸軍

0020



軍部

軍砲

軍旅

廿

五二二

陸軍省 領事第百七十五號

四月十九日

陸軍省 第三九

四月

砲一第三〇

一九二八年

後省陸軍砲兵軍曹鶴田末太郎

後省陸軍歩兵伍長高野恒

右兩名共今被韓國政府、聘

用者此、通任者而之、又之、

並之、又之、以本、河、不、義、由、回、各、領

交、者、故、干、と、テ、ハ、各、本、人、に、於、テ、規

、之、後、及、行、可、被、付、出、形、上、ハ、

至、急、應、行、所、有、之、計、也、之、許

可、ハ、自、道、被、認、定、之、形、及、照

0021

陸軍

主計

陸軍

陸軍

陸軍

陸軍

陸軍

陸軍

陸軍

陸軍

陸軍

陸軍

豫備陸軍主計手由邊斧松

右者今取韓王政府、聘用を以て道

任命せしむるに、又、此差支を以て、然る

何ふに義山回答煩交尚右に主計

本人に於て、成規、手續、分、別、向、答、府

出、所、上、去、急、進、聘、手、向、出、果、計

上、待、二、月、日、以、通、報、煩、交、以、及

照、会、依、也

明治三十二年四月十五日

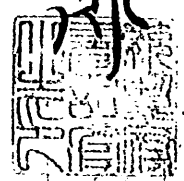


三九

一八九八

0023

従之友方人本津考是介象太郎



陸軍省別名立荒小一郎殿

記

友 名 友 寿 俸 給 手 書 年 紀

税 関 主 事 判 任 友 五 等 九 級 (俸 給 年 給 百 七 拾 七 圓) 参 万 参 拾 六 圓

0024



之許可、月分、而、道、被、使、存、付、也
及、由、行、也、也

皇朝、正、年、四、月、廿、五、日、

使、此、交、存、付、也、
皇朝、正、年、四、月、廿、五、日、



陸軍省、為、友、交、存、付、也、

0026

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

0028

給九級俸
隆興三年六月七日

統

監

府

0030

軍事

新

陸軍

軍

補任

明治四十二年六月廿四日

統監官房人事課長國分象太郎

立花陸軍省副官殿

豫備陸軍步兵持務曹長伊藤金熊本月十六日付ヲ以テ
前此會左記之通韓國政府一聘用任命相
成候系御了知相成度此段及通保表也

左記

六月廿九日

陸軍省

陸軍省印

統監府

0031

任 財務署主事叙判任官四等
給八級俸

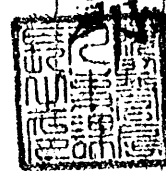
(俸給年額金百八拾圓
十一年額金四百八拾圓)

統
監
府

0032

明治四十二年六月十九日

統監官房人事課長國分象太



之先陸軍省為友 殿

陸海軍省之芳斗手曰邊等於六月十五日付ヲ以テ
前遊會在記之通韓國政府一聘用任命相
或候系御了知相改度此段及通保素也

統 監 府

0033

位 横 関 主 子 叙 判 位 各 四 等
給 八 級 俸

統 監 府

0034

第七級漆

隆興三年五月辛卯

漆
臣
月

0036